

AIが現場を進化させる

「IoTプラットフォーム」データをつなげ・AIが考え・現場を変える



現場のデータと知識がつながり、AIが考え、改善が動き出す。

こんなお困りごとを解決します

現場の課題

- 設備の稼働状況が見えない(稼働率・停止理由の把握困難)
- トラブル対応が属人的で遅れる
- ベテラン作業者のノウハウが暗黙知化
- 品質トレーサビリティが不十分
- データが散在し、活用できない
- 可視化するにもプログラムしないといけないため大変

IoTプラットフォーム導入後

- PLC連携によりリアルタイムで稼働状況を可視化。
- 過去の対応履歴をRAGで即検索。LLMが初動対応をガイド。
- 製品ごとの加工・検査履歴を自動記録し、検索可能に。
- 各種機器・システムのデータを統合し、横断的に活用可能。
- センサーデータを分析し、LLMが「過去の類似事例」を提示。
- ダッシュボード化。LLMが原因分析も支援。

生成AI搭載IoTプラットフォームを利用したユースケース

データの見える化を簡単に実施したい

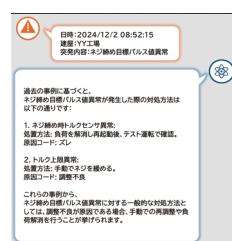
- 収集したデータは、ノーコードでダッシュボード画面を可視化
- 他、データ表示や、外部に出力することも可能



異常検知の原因と対策を教えてほしい

- 過去のトラブル対応履歴、マニュアル、保守記録をベクトル検索で提示。
「このエラーコードの過去事例は？」
→即答。

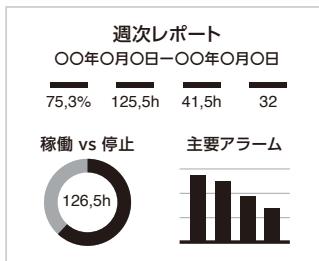
作業者が「昨日のライン停止理由は？」
と聞けば、LLMがRAGで過去ログから回答。



週次でのレポートを作成したい

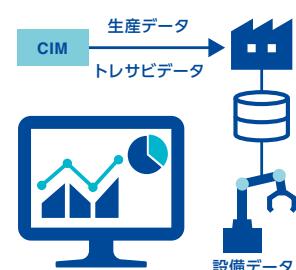
データを集計した結果を1週間分のデータで出力。

例:
「稼働率、停止時間、主要アラームを含むレポートを自動生成」

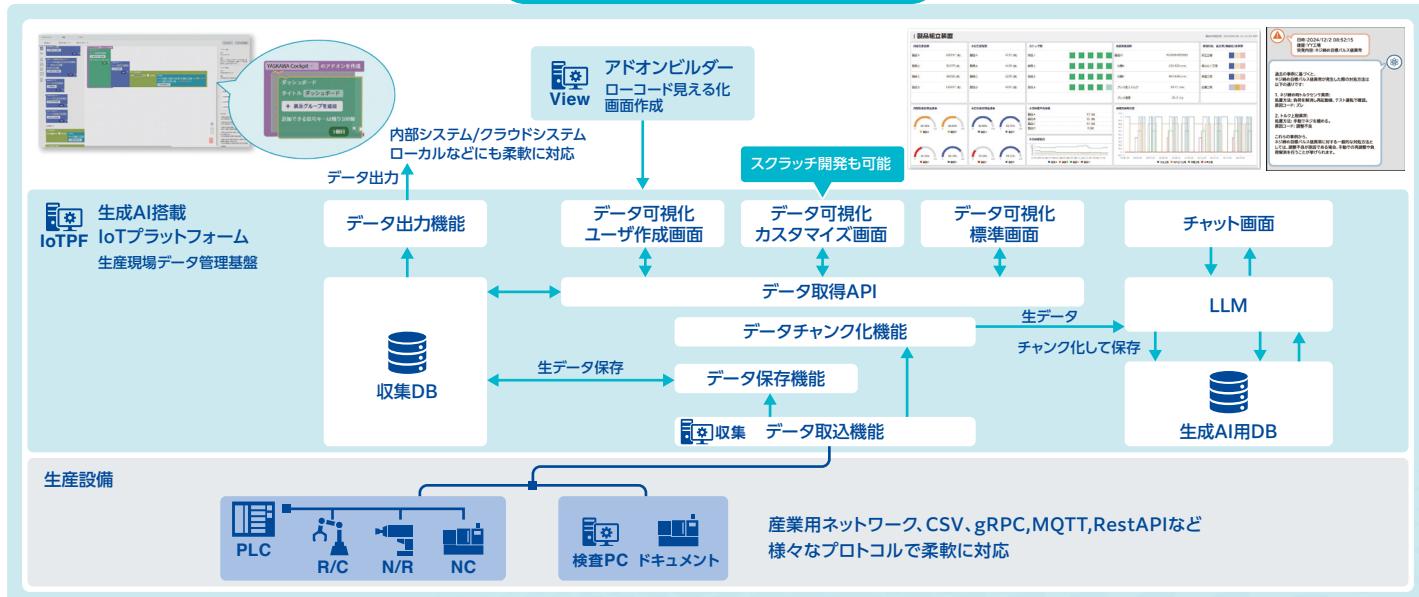


トレセビデータを活用したい

- CIMから生産状況のデータと設備情報のデータを連携することでトレーサビリティがとれたデータを管理
- 生産進捗低下の要因などをデータで可視化



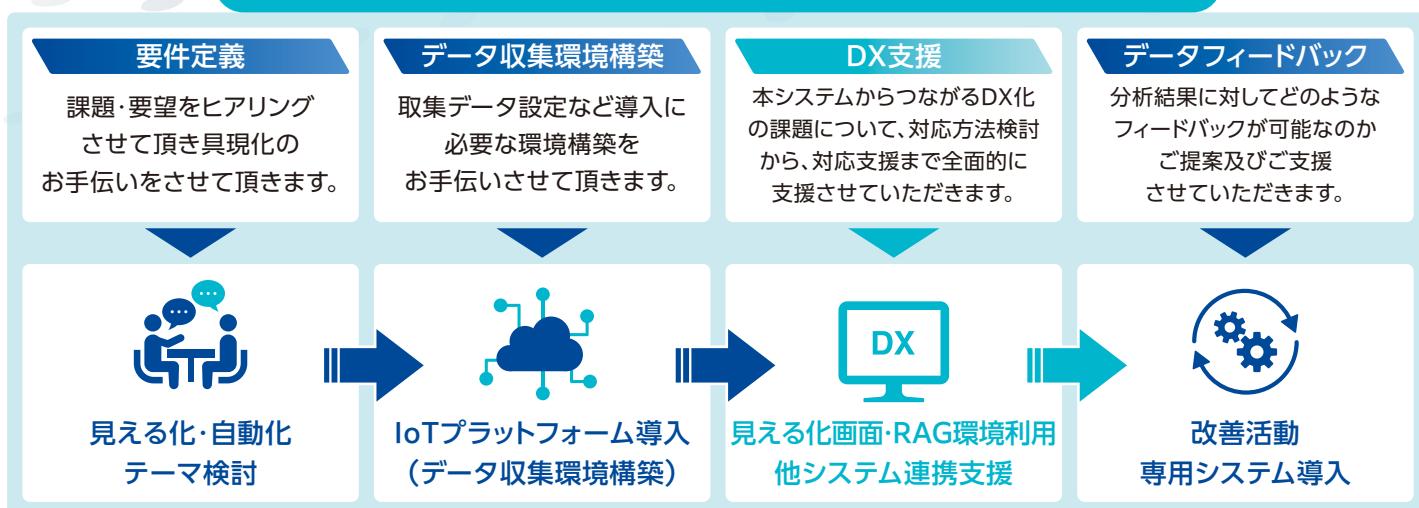
システム構成



IoTプラットフォームの3つのコンセプト



生産現場のデジタル化について全体的にご支援させて頂きます



[お問い合わせ]

エリア事業本部 九州支社 スマートファクトリー担当窓口
E-mail : SmartFactory_Sales@fsi.co.jp